

第3期西条市国民健康保険
保健事業実施計画
(データヘルス計画)

概 要 版

(第4期特定健康診査等実施計画)

令和6年度～令和11年度

西条市国民健康保険

1. データヘルス計画の概要

(1) 目的

データヘルス計画は、国民健康保険法及び高齢者の医療の確保に関する法律に基づく国の指針により、保険者等が策定するものです。

保険者は、健康・医療等に関するデータベースを活用して、優先的に取り組むべき健康課題を抽出し、効果的かつ効率的な保健事業を実施することが求められています。

本市では、平成28年3月に「第1期保健事業実施計画（データヘルス計画）」を策定以降、適宜計画の評価・見直しを行い、加入者の健康寿命の延伸ひいては医療費適正化に取り組んでいます。

(2) 計画期間

計画の期間は、令和6年度から令和11年度までの6年間とします。

2. 西条市の現状と課題

(1) 医療費の状況

本市では、被保険者数の減少に伴い総医療費も減少傾向ですが、一人当たり医療費は増加しており、同規模保険者、県、国よりも高くなっています。

		西条市		同規模	県	国
		平成30年度	令和4年度	令和4年度	令和4年度	令和4年度
総医療費		90億4,519万円	87億8,776万円			
一人あたり医療費		364,843円 県内11位 同規模16位	401,455円 県内8位 同規模12位	359,130円	390,048円	339,680円
入院	1件あたり費用額	515,090円	579,440円	616,530円	580,300円	617,950円
	費用の割合	46.3%	45.3%	40.6%	42.3%	39.6%
	件数の割合	3.7%	3.5%	2.6%	3.0%	2.5%
外来	1件あたり費用額	22,960円	25,220円	24,420円	24,300円	24,220円
	費用の割合	53.7%	54.7%	59.4%	57.7%	60.4%
	件数の割合	96.3%	96.5%	97.4%	97.0%	97.5%

中長期目標疾患としている脳血管疾患・虚血性心疾患・腎疾患の医療費合計が、総医療費に占める割合は平成30年度と比較すると減少していますが、同規模保険者、県、国よりも高くなっています。

		西条市		同規模	県	国
		平成30年度	令和4年度	令和4年度	令和4年度	令和4年度
総医療費		90億4,519万円	87億8,776万円			
中期目標疾患医療費合計		8億2,823万円	7億8,032万円			
		9.16%	8.88%	8.40%	7.91%	8.03%
中長期目標疾患	脳					
	脳梗塞・脳出血	2.44%	2.37%	2.11%	2.30%	2.03%
	心					
	狭心症・心筋梗塞	1.86%	1.67%	1.50%	1.58%	1.45%
腎	慢性腎不全(透析有)	4.56%	4.58%	4.49%	3.75%	4.26%
	慢性腎不全(透析無)	0.29%	0.26%	0.29%	0.27%	0.29%

(2) 健診の状況

本市の特定健診受診者数は、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2、3年度と低迷していましたが、未受診者への受診勧奨等により令和4年度の受診率は35.3%までに回復し、令和5年度は37%前後を見込んでいます。

	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
特定健診受診率	33.5%	34.5%	30.9%	32.4%	35.3%
【未受診者対策】 受診勧奨者数	9,893人	13,548人	13,650人	13,288人	12,007人

(3) 重症化予防、その他の状況

本市は、糖尿病性腎症重症化予防を実施しており、特定健診の結果でHbA1c6.5以上の被保険者のうち未治療者、治療中断者に対し、受診勧奨及び重症化予防プログラムへの参加勧奨を実施しています。

プログラムの参加割合は高くありませんが、受診勧奨後に医療機関を受診した割合は、約50%と一定の効果は出ていると推測できます。

【糖尿病性腎症重症化予防】

	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
HbA1c6.5以上の該当者	435人	484人	449人	501人	564人
受診勧奨実施者	55人	77人	61人	73人	71人
保健指導指示書作成者	5人	6人	6人	7人	7人
受診勧奨後の医療機関受診者	23人	42人	33人	36人	35人
受診勧奨後に医療機関を受診した割合	41.8%	54.5%	54.1%	49.3%	49.3%
新規透析患者数	15人	18人	14人	16人	13人

※ 医療機関の受診者は、令和4年10月～令和5年9月診療分レセプトで抽出

【短期人間ドック・脳ドック】

	平成30年度	令和2年度	令和4年度
短期人間ドック	610人	526人	567人
脳ドック	86人	50人	22人
同時受診	277人	128人	153人
合計	973人	704人	742人

【ジェネリック医薬品使用割合】

	平成30年度	令和2年度	令和4年度
使用割合	65.7%	71.9%	75.2%

その他、35歳以上の被保険者を対象に短期人間ドック及び脳ドックの利用に対する助成、ジェネリック医薬品の利用促進などがあります。

(4) 第2期データヘルス計画に係る考察及び課題

本市の特定健診受診率は、新型コロナウイルス感染症の影響で大幅に落ち込みましたが、令和4年度には回復し、令和5年度には37%前後を見込んでいますが、国の目標とする60%にはほど遠い状況です。毎年、過去の医療機関や特定健診の受診状況を分析し受診勧奨を実施していますが、40歳から50歳の若い年代の受診率が低いことが課題となっています。

糖尿病性腎症重症化予防については、糖尿病性腎症による新規透析患者数は微減となっていますが、プログラム参加者数は増えておらず、参加者数を伸ばすことが課題となっています。

ジェネリック医薬品の使用割合は目標の80%には届いていませんが、令和4年度の使用割合は75.2%で、計画初年度の使用割合と比較して約10%の増となっています。一部メーカーの製造不正を発端に、ジェネリック医薬品不足の影響により使用割合が伸び悩んでいるなか、毎年行っている差額通知書の送付や被保険者証更新の際に「後発医薬品に関するリーフレット・希望シール」を配布する等の取組効果が出ていると推測されます。

3. 第3期データヘルス計画での保健事業の方向性及び目標設定

(1) 基本的な考え方

生活習慣病の有病者や予備群を減少させるためには、不健康な生活習慣の蓄積から、生活習慣病の予備群、生活習慣病への進展、さらには重症化・合併症へと悪化するものを減少させること、あるいは、生活習慣病から予備群、更には健康な状態へ改善するものを増加させることが必要となります。

(2) 優先して解決を目指す健康課題の優先順位付け

健康課題を整理した結果を踏まえ、中長期目標疾患としている脳血管疾患・虚血性心疾患・腎疾患に共通した重なりのある高血圧、糖尿病等の早期受診勧奨や治療中断を防ぐ保健指導を継続していくことを行います。

(3) 個別保健事業（医療機関と連携し重症化予防のための保健指導）

保健事業の実施にあたっては糖尿病性腎症、虚血性心疾患、脳血管疾患における共通のリスクとなる特定健診における糖尿病、高血圧、脂質異常症、メタボリックシンドローム等の減少を目指すために、以下の重症化予防の実施または検討を行います。

1) 第2期計画から継続する重症化予防（糖尿病性腎症重症化予防の継続及び更なる取組の検討）

糖尿病性腎症で通院している者及び糖尿病性腎症を発症していないが高血圧、メタボリックシンドローム該当者等リスクを有する者を把握します。また、評価として、①受診勧奨者に対する評価 ア. 受診勧奨対象者への介入率 イ. 医療機関受診率 ウ. 医療機関未受診者への再勧奨数、②保健指導対象者に対する評価 ア. 保健指導実施率 イ. 糖尿病管理台帳から介入前後の検査値の比較を追加します。

2) 第3期計画から開始する重症化予防（高血圧重症化予防）

脳血管疾患・虚血性心疾患において最大の危険因子である高血圧Ⅱ度以上の対象者に対し、医療機関受診勧奨及び西条市高血圧重症化予防プログラムに沿った保健指導を実施します。

3) 第3期計画で検討する重症化予防

①肥満・メタボリックシンドローム重症化予防 ②虚血性心疾患重症化予防 ③脳血管疾患重症化予防

4) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

5) その他の保健事業

①短期人間ドック・脳ドック ②重複受診・頻回受診・重複服薬指導 ③ジェネリック医薬品差額通知
④発症予防

6) ポピュレーションアプローチ

保健センターで実施する教室や地域の集まりの中で、生活習慣病の重症化により医療費や介護費等社会保障費

の増大につながっている実態や、その背景にある地域特性等について広く市民へ周知していきます。

(4) 目標管理の設定

県内で共通の評価指標を設定することにより、域内保険者において経年的なモニタリング、他の保険者との比較、俯瞰的、客観的な状況を把握することができるため、以下の管理目標を設定します。

関連計画		達成すべき目的	課題を解決するための目標
特定健診等計画		医療費削減のために、特定健診受診率、特定保健指導の実施率の向上により重症者予防対象者を減らす	特定健診受診率60%以上
			健診受診者のHbA1c8.0以上の未治療者数の減少
			特定保健指導実施率60%以上
			特定保健指導対象者の減少率25%
データヘルス計画	中長期目標	脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症による透析の医療費の伸びを抑制	脳血管疾患の総医療費に占める割合の維持
			虚血性心疾患の総医療費に占める割合の維持
			慢性腎不全(透析あり)の総医療費に占める割合の維持
			糖尿病性腎症による透析導入者の割合の減少
			糖尿病性腎症による新規透析導入者の割合の減少
			メタボリックシンドローム・予備群の減少率
	短期目標	脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の発症を予防するために、高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドローム等の対象者を減らす	健診受診者の高血圧者の割合減少(160/100以上)
			健診受診者の脂質異常者の割合減少(LDL160以上)
			健診受診者の血糖異常者の割合減少(HbA1c6.5以上)
			健診受診者のHbA1c8.0以上の者の割合の減少
			糖尿病の未治療者を治療に結び付ける割合
			特定健診受診率、特定保健指導実施率を向上し、メタボ該当者、重症化予防対象者を減少
アウトカム指標	特定健診受診率、特定保健指導実施率を向上し、メタボ該当者、重症化予防対象者を減少	特定健診受診率60%以上	
		特定保健指導実施率60%以上	
		特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	

4. 第4期特定健康診査等実施計画

目標値を以下のとおり設定し、国が定める指針に沿って実施します。

	令和4年度 (実績)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
特定健診受診率	35.3%	40.0%	44.0%	48.0%	52.0%	56.0%	60.0%
特定保健指導実施率	22.1%	40.0%	44.0%	48.0%	52.0%	56.0%	60.0%

5. 計画の評価・見直し

令和8年度に、進捗状況確認のための中間評価を行います。また、最終年度の令和11年度には、次期計画の策定を見据えて評価を実施します。

6. 計画の公表・周知

西条市国保医療課のホームページを中心に公表、周知を行います。